|  |
| --- |
| **記載例**事業計画の概要を記載した書類（処分業用）１．事業の全体計画（変更許可申請時には変更部分を明確にして記載すること）**平成○○年から建設業を営んでいるが、事業拡大を考え、建設廃棄物の処分を行うために申請に至った。****許可取得後は、がれき類を破砕して再生路盤材として再生し、木くず、紙くず、繊維くずについては、焼却後、管理型最終処分場へ搬出する。**現在の主たる業務と業務経歴、産業廃棄物処分業に係る事業計画の概要を記載して下さい。２．処分する産業廃棄物（特別管理産業廃棄物）の種類及び処分量等 |
|  | (特別管理)産業廃棄物の種類 | 処 分 量(t/月又は㎥/月） |  性　状 | 予定排出事業場の名称及び所在地 | 処分方法 | 予定運搬先の名称及び所在地(処分場の名称及び所在地) |
| １ | **木くず(石綿含有産業廃棄物を除く)** | **5t/月** | **固体** | **県内一円建設現場** | **焼却** | **○×環境****○○市××１１番地１** |
| ２ | **紙くず(石綿含有産業廃棄物を除く)** | **0.1t/月** | **固体** | **○×建設****○○市××１２番地３** | **焼却** | **○×環境****○○市××１１番地１** |
| ３ | **繊維くず(石綿含有産業廃棄物を除く)** | **0.1t/月** | **固体** | **県内一円建設現場** | **焼却** | **○×環境****○○市××１１番地１** |
| ４ | **がれき類(石綿含有産業廃棄物を除く)** | **1000t/月**取り扱う産業廃棄物の種類を記入し、その種類ごとに、処分量や性状、排出事業場の名称等を記入して下さい。また、申請に係る施設の内容により取り扱う産業廃棄物が限定される場合は、その旨を明記して下さい。予定排出事業場や予定運搬先については、具体的な排出事業場名・運搬先の業者名を記載することが原則ですが、事業開始前で排出事業場・運搬先が特定できない場合は、「県内一円建設現場」、「県内一円事業場」等の記載でも可能です。記載欄が足りない場合は、追加して記載して下さい。 | **固体** | **県内一円建設現場** | **破砕** | **建設工事に****再利用** |
| ５ |  |  |  |  |  |  |
| ６ |  |  |  |  |  |  |
| ７ |  |  |  |  |  |  |
| ８ |  |  |  |  |  |  |
| 備考　取り扱う産業廃棄物（特別管理産業廃棄物）の種類ごとに記載すること。 |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（日本工業規格　Ａ列４番）

|  |
| --- |
| 使用する全ての処理施設について、施設の種類ごとに当該様式を作成して下さい。ここでは、がれき類の破砕施設の記載例を示しています。３．施設の概要（許可外処理施設） |
| 処理施設の種類 | **破砕施設** |
| 設置場所 | **沖縄県××市○○番** |
| 設置年月日 | **令和＊＊年＊月＊日** |
| 処理能力 | **４ｔ/日（８時間）** |
| 廃棄物の種類 | 廃棄物処理法第15条に基づく設置許可を取得した施設を用いる場合には、「設置年月日」の欄を「許可年月日等」に修正して許可年月日及び許可番号を記入し、設置許可証の写しを添付して下さい。この場合、処理施設の種類を次のとおり記入し、その他の欄の記載については省略しても結構です。【記入例】破砕施設（詳細は、別添「設置許可証の写し」のとおり）**がれき類（石綿含有産業廃棄物を除く。）** |
| 処理施設の処理方式及び設備の概要「処理施設の処理方式」としては、二軸破砕方式、乾留ガス化燃焼方式、バッチ式などの処理方式を記入して下さい。「設備の概要」については、処理施設を構成する主要機器（例えば、破砕処理施設の場合、破砕機、ふるい機等）を記入して下さい。 | **処理方式：スイングハンマ式****設備の概要：破砕機（スイングハンマ式）****ふるい機（＊＊mmメッシュ）** |
| 環境保全設備の概要「環境保全設備」としては、例えば、破砕施設の場合には、粉じん対策としての防じんカバーの設置等、焼却施設の場合には、ばい煙の除去装置であるバグフィルター等を記入して下さい。 | **粉じん・騒音対策として、建屋内にて作業を行う。** |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（日本工業規格　Ａ列４番）

|  |
| --- |
| ４．最終処分場 |
| 最終処分場の種類及び名称 | 最終処分場を用いる場合にだけ記入して下さい。また、廃棄物処理法第15条に基づく設置許可を取得した最終処分場を用いる場合には、「設置年月日」の欄を「許可年月日」に修正して許可年月日及び許可番号を記入し、設置許可証の写しを添付して下さい。この場合、最終処分場の種類及び名称を記入し、その他の欄の記載については省略しても結構です。【記入例】安定型最終処分場（詳細は、別添「設置許可証の写し」のとおり） |
| 設置場所 |  |
| 設置年月日 |  |
| 最終処分場の規模等 |  |
| 埋立対象廃棄物の種類 |  |
| 構造及び設備の概要 |  |
| 放流水の水質等 |  |
| その他環境保全対策 |  |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（日本工業規格　Ａ列４番）

|  |
| --- |
| ５．処分業務の具体的な計画（処分業務を行う時間、休業日、組織及び従業員数を含む。）**沖縄本島内の建設廃棄物（がれき類、紙くず、木くず、繊維くず）の処理を行う。****ア　破砕****がれき類の破砕を行う。****破砕後は、選別機を用いて粒度調整し、売却又は自社が発注した建設工事に利用する。****イ　焼却****紙くず、木くず、繊維くずの焼却を行う。****焼却物については、○×環境に処分を委託する。****ウ　処分業務を行う時間 ： 平日の　9:00 ～ 17:00（土日・祝祭日は休業日）****エ　その他 ： 廃棄物処理法を遵守し、適正に処分を行う。**処分業務を行う時間、休業日、組織及び従業員数を記載し、処分の種類ごとに、処分業務の工程、処分後の処理方法（最終処分先あるいは再生・販売先等）等を具体的に記載して下さい。原則として、申請年月日における作業員数内訳を記載して下さい。「相談役、顧問等申請者の登記外の役員」、「事務員」、「運転手」、「作業員」、「その他の作業員」については、廃棄物処理業に関わる人数のみを記載して下さい。作業員数内訳　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　**平成２３年　５月　１日**　現在 |
| 申請者又は申請者の登記上の役員 | 政令第６条の10で準用する第４条の６に規定する使用人 | 相談役、顧問等申請者の登記外の役員 | 事 務 員 | 運 転 手 | 作 業 員 | そ の 他 | 合　　計 |
| **３** 人 | **０**　人 | **＊** 人 | **＊** 人 | **＊** 人 | **＊** 人 | **＊** 人 | **＊** 人 |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（日本工業規格　Ａ列４番）

|  |
| --- |
| ６．環境保全措置の概要施設に設置される「環境保全設備」の維持管理等も含め、環境保全措置の概要を記入して下さい。また、環境保全設備については、パンフレット又は図面等により、その詳細を示して下さい。《例》・ 粉じん飛散防止対策としての散水装置の概要・ 騒音防止対策としての防音壁の概要・ 水質汚濁防止対策としての水処理設備の概要 (1) 中間処理施設において講ずる措置　**ア　破砕処理について****・破砕処理、選別処理については建屋内で行い、粉じん、騒音対策を講ずる。****イ　焼却処理について****・建屋内で行うことで、悪臭対策を講ずる。****・排ガス処理装置、排水処理装置を設け、当該装置については、別添のマニュアルに基づきに毎日検査を行う。****・排ガスの定期検査を行い、異常がある場合には施設を停止し、その旨を保健所及び環境整備課に報告する。** (2) 保管施設において講ずる措置　**ア　破砕のための保管施設について****がれき類の保管にあたっては、粉じんが飛散しないようにスプリンクラーにより湿潤化し、周辺には防塵ネットを設ける。****また、排水については排水処理施設により処理した後に、下水道に放流する。****イ　焼却のための保管施設について****木くず、紙くず、繊維くずの保管にあたっては、コンテナを用いて、飛散防止のためブルーシートをかぶせる。** (3) 最終処分場において講ずる措置　　**非該当** |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（日本工業規格　Ａ列４番）